

施策名	戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出）（基盤的施策）
担当府省	文部科学省
施策の目標	第4期科学技術基本計画等が掲げる我が国の重要課題の達成に貢献するため、国が示す戦略目標の下で研究開発を推進し、イノベーションの創出に資する新技術シーズとなる研究成果を得る。
予算要求額等の合計	平成24年度 532億円（平成23年度 510億円）
実施期間	恒常的に実施
<p>【進捗の状況について】 ○本事業は、新技術創設に向けて着実な成果を生み出しており、論文被引用度等を見ても効果的な制度であることを示している。</p> <p>【改善の状況について】 ○平成24年度要求での、グリーンとライフの2大イノベーションに重点を置く方針や、若手研究者の人材育成に向けた「さきがけ」の採択課題数の拡充は評価できる。 ○繰り越し合算費用の5%枠の撤廃は評価できる。</p> <p>【今後の取組に向けた所見】 ○本制度の中で研究開発リーダーの育成を方針として定着させたい。特に若手リーダーの育成に注力すべきである。 ○戦略目標の決定、研究領域の選定及び研究総括の選任について、透明性を高めるために理由の公表方法の充実等が図られているが、引き続き努力してほしい。 ○戦略目標を立案する文部科学省とその目標の下で研究領域を設定する科学技術振興機構との間で、本事業に関するインタラクティブ性をさらに高めることが重要である。 ○本事業と、文科省の他の研究開発事業との役割分担は重要であるので、その点が明確になるよう引き続き努力すべきである。 ○2大イノベーションに重点を置くことには大きな意義があるが、従来の重点領域として設定されていた日本が強みとする先進的な研究開発テーマが、2大イノベーションの研究開発課題の単なる要素技術としてしか扱われなくなってしまうことは、我が国</p>	

として大きな損失となることが懸念される。我が国として強みとすべき研究開発テーマについては、その該当領域自身を基盤研究領域の柱として推進する戦略目標を立案することにも配慮すべきである。

○分野融合の実績については積極的に広報すべきである。

○当該制度による新技術シーズにより、どの程度イノベーションに貢献したのか、長期的な視点から費用対効果も含め明確に説明すべきである。